

# 近赤外モバイル成分分析器

M011

## 近赤外線によって食品や各種材料の成分を非破壊計測

### 概要

計測対象に近赤外線を照射し、非破壊で成分を計測する。  
有線(USB)又は無線(Bluetooth)にてPCやスマートフォンと  
接続し波長毎の強度情報を取得する。  
各波長の吸光度変化1次、2次微分から目的の成分算出する。



製品外観

### 特徴

- ・近赤外波長域の吸光度計測により成分を算出
- ・超小型センサーにより小型・軽量化。屋外での計測に最適。
- ・BluetoothによってPCやスマートフォンと連動。
- ・取得データはCSV形式で出力され、PCにて編集、分析が容易



パソコンとの接続例

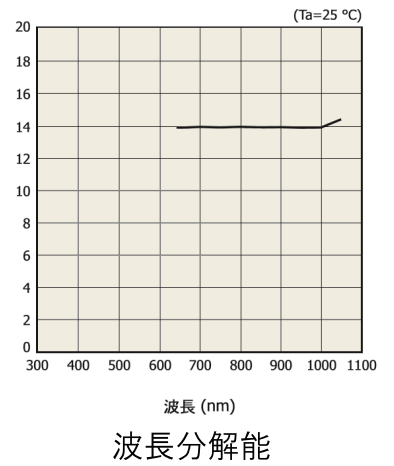
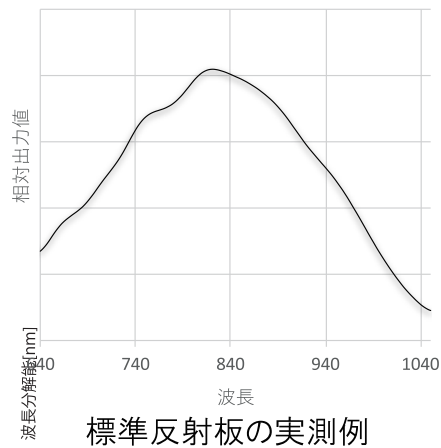
### 用途

- ・食品関係 異物、果物の糖度計測、肉や魚の油脂成分分析
- ・工業製品 プラスチックの弁別、水質検査、太陽電池材料の分析など

### 仕様

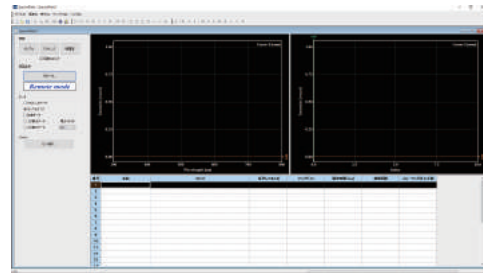
項目	内容
波長範囲	640nm～1050nm
検出器タイプ サイズ(mm)	近赤外分光器 スリットサイズ: 75 x 750 [μm]
光学波長分解能(半値幅)	15 max [nm]
波長再現性	-0.5 ~ +0.5 [nm]
波長温度依存性	-0.05 ~ +0.05 [nm/°C]
サンプリング時間	20 ~ 10,000 [ms]
入射強度 (λ=850nm時)	10 e-12 ~ 10 e-7 [w]
近赤外発光源	ハロゲンランプ 3個使用
AD分解能	16 bit
出力波長分解能	2 [nm]
駆動電源	USBバスパワー
出力表示	波長、光強度、1次微分、2次微分
制御方式	本体ボタン又はUSB/Bluetoothによる遠隔制御
データ転送	USB又はBluetooth経由
寸法	φ45 x 129 [mm]
重量	200g (バッテリーを除く)
動作周囲温度	+5 ~ +50 °C

# 特性図



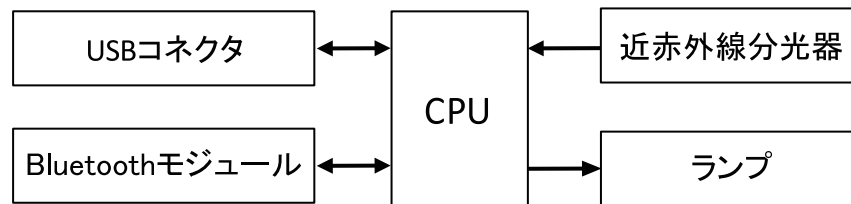
# ソフトウェア

- ・計測間隔及びゲインを調整。
- ・計測結果をリアルタイムグラフ表示
- ・計測データはCSV保存。自由に加工可能。



ソフトウェア画面

# ブロック図



# 外形寸法

